



カンガルーケアって？

出産直後よりお母さんと赤ちゃんが肌と肌とで接触し、母と子の絆を深め、母乳保育を促進するために、当院ではカンガルーケアを行っています。

カンガルーケアって

1979年、保育器不足を補う未熟児の代替医療として始まり、その保温性や呼吸刺激、母子のふれあいなどの効果が評価され、欧米各国で未熟児だけでなく、出産時の早期接触（カンガルーケア）として取り入れられるようになりました。

大切な我が子を包み込むようにお母さん（お父さん）が抱く姿がお腹の袋で子育てをするカンガルーのようなので、カンガルーケアと呼びます。

カンガルーケアの効果は？

赤ちゃんの体温低下を防ぎ、呼吸が規則的になり安定します。

赤ちゃんの眠りが深くなり、起きているときも穏やかに過ごせます。

母乳保育が進みます。

なにより母子の関係が深まり、育児に自身が持てます



当院でのカンガルーケアは？

赤ちゃん誕生後、ヘソの緒を切って、温かいタオルで血液や羊水を拭き取り、体重や身長測定を行い、おむつだけ着けます。赤ちゃんをお母さんの肌と密着して抱いてもらい、タオルケットをかけて1～2時間過ごしていただきます。

泣き叫んでいた赤ちゃんも安心してほとんど泣きやんで、気持ちよさそうにだっこされます。

お父さんやご家族の方も一緒に過ごすことができます。

カンガルーケアを希望される方は、助産師の面談時や安産教室の時に申し出ください。もちろん、分娩の時に申し出ていただいても結構です。

下関市立豊浦病院 産婦人科